

2008 年度

科目名 漢字古典研究 B	対象学科・学年 文学部日文3 回生	担当者 木本 恵子
授業テーマ 古典研究をもとにした、芸術教育としての書の追求		
授業の概要と目標 前期に引き続き、中国の漢字作品及び日本の漢字作品の鑑賞・臨書を行う。 さらに、それを生かし、漢字仮名交じり文に取り組む。 また、篆刻の実習も行う。		
評価方法 提出する清書作品の評点と平常点を考慮して評価する。		
テキスト プリントを配布する。	著者	出版社
参考書 講義の中で紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 篆書 甲骨文、金文の鑑賞・臨書 2. " 秦 泰山刻石 " 3. " 清 西泠印社記 " 4. 西泠印社記を半切に臨書する 5. 隸書 前漢 魯孝王刻石 " 6. " 後漢 乙瑛碑 " 7. " 後漢 張遷碑 " 8. 取り組んだ隸書の古典を半切に臨書する 9. 日本の漢字の書の鑑賞・臨書 10. " 11. 漢字仮名交じり文 古典からの創作 12. 自分の好きな言葉を書く ①古典からの集字 13. " ②創作 14. 篆刻 与えられた印稿にもとづき、製作する 15. " 雅印の製作		